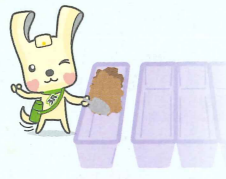


プランターを  
どう使いまわせば  
効果的ですか？



- A ①** プランターの数を増やしたくない場合  
仕込んでから10日も経てば60~70%分解が進みます。プランターが一杯になって数日おいて、フルイにかけます。分解して土になった物と未分解のもの(固まりのままのもの)に分けます。土の方は保存用のダンボールに保存し、未分解のものはその日の生ごみと一緒にします。
- ②** プランターの数を増やしても手間をかけたくない場合  
3、4個のプランターを用意して時々かき混ぜながら3週間程度寝かせます。古いプランターから順に生ごみの形がなくなりますから、その順にフルイにかけて土を保存します。固形物が残って入れば今日の生ごみに加えます。プランターは一個ずつ空になります。

翌朝、土が暖かくなって  
白いカビが生えたけど  
大丈夫？

- A** それこそ、微生物の発酵が進んでいる好ましい状態です。白いカビはダイオキシソシンやPCB(ポリ塩化ビフェニル)すら分解するといわれる白色腐朽菌です。熱は発酵熱で発酵が進んでいる証拠です。



出来た培養土の成分は？

- A** 植物に必要な窒素、リン酸、カリ、ミネラルをバランスよく含んだpH7の中性の土で団粒の状態です。何度も生ごみを入れて繰り返すと肥料効果の高い土が出来ます。



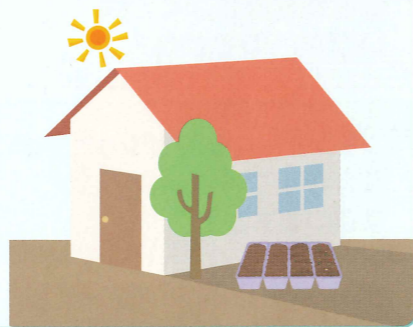
どんどん土が増えて  
困ることは？

- A** 出来上がって乾燥した土は、分解用の土としてまた使い回しをしますので、土が増えて困ることはありません。培養土になれば、花や野菜の栽培に使えます。

プランターの  
置き場所は？



- A** 水分50~60%を維持することが肝要なので、直射日光や雨の降り込まない所ならどこでも大丈夫です。上にフタをして下さい。



【注意】雨よけのため一時的なフタであれば問題ないですが、常時、通気性の悪いものでフタをすることはやめてください。

完成した土を植え木で  
利用する場合は？

- A** 完成した土を2~3週間程度ねかし、黒土を同量程度混ぜて使用する。

お問い合わせはお近くの区役所 資源化推進担当・資源循環局事務所まで					
鶴見	区役所 ☎ 510-1689 事務所 ☎ 502-5383	保土ヶ谷	区役所 ☎ 334-6304 事務所 ☎ 742-3715	青葉	区役所 ☎ 978-2299 事務所 ☎ 975-0025
神奈川	区役所 ☎ 411-7091 事務所 ☎ 441-0871	旭	区役所 ☎ 954-6096 事務所 ☎ 953-4811	都筑	区役所 ☎ 948-2241 事務所 ☎ 941-7914
西	区役所 ☎ 320-8388 事務所 ☎ 241-9773	磯子	区役所 ☎ 750-2397 事務所 ☎ 761-5331	戸塚	区役所 ☎ 866-8411 事務所 ☎ 824-2580
中	区役所 ☎ 224-8140 事務所 ☎ 621-6952	金沢	区役所 ☎ 788-7808 事務所 ☎ 781-3375	栄	区役所 ☎ 894-8488 事務所 ☎ 891-9200
南	区役所 ☎ 743-8199 事務所 ☎ 741-3077	港北	区役所 ☎ 540-2244 事務所 ☎ 541-1220	泉	区役所 ☎ 800-2398 事務所 ☎ 803-5191
港南	区役所 ☎ 847-8398 事務所 ☎ 832-0135	緑	区役所 ☎ 930-2241 事務所 ☎ 983-7611	瀬谷	区役所 ☎ 367-5691 事務所 ☎ 364-0561



家庭で生ごみを土に変えて  
緑や花をいっぱい!!



生ごみの削減と、土壌の回復が可能な

# 土壌混合法

- 生ごみと土を混ぜ合わせることで、好気性の微生物が働きはじめ、生ごみを分解し、土壌が豊かによみがえります。
- マンション・戸建住宅に関わらず、どなたでも簡単にできます!

どなたでも  
お気軽にできる  
土作りです!



## 基本の土の作り方

- 準備するもの**
- プランター...4個 (1週間で一杯になるくらいのもの) 4個で4週間分です。このプランターを循環させて使うのがコツです。
  - 生ごみ
  - 土

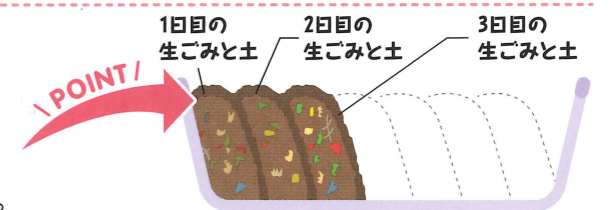
- 1** 2~3cmに刻んだ濡れた生ごみと乾いた土を混ぜます。(土は生ごみの量より多めに)



- 2** 混ぜたときに手の中に湿り気を感じるくらい(50%程度)の水分量にします。



- 3** 生ごみと土を混ぜたものを1日分ずつ横に並べます。



- 4** 生ごみが隠れる程度の土で覆います。これで、虫・においをシャットアウトします。

- 5** プランターが一杯になったら全体をかき混ぜます。(酸素の供給が重要!)

1グラムの土の中には数億個の微生物がいます。微生物は酸素が大好きです。微生物が活発に働くことで内部温度が上がり、生ごみの分解・発酵が促進されます。



# 土壌混合法にチャレンジ!

生ごみと土を混ぜて土壌混合法のスタートです。



## 代表的な質問

- 次のような生ごみは入れていいのでしょうか?
- 魚の内臓や肉類 …… 有機物として最適です。
  - 塩分 …… 5%以下程度は支障がなく、微量要素としてむしろ必要です。適度な塩分が含まれることで、分解後の土で育てた野菜や果物の味が向上します。
  - 廃油 …… 微生物のカロリー源となり分解・発酵を早めます。但し、多量に入れると微生物による分解速度が追いつきませんので、投入量に注意が必要です。揚げかすは問題ありません。
  - 腐ってしまったもの …… 乾いた土とよく混ぜ合わせれば大丈夫です。
  - 鶏や魚の骨 …… 砕くと分解が速くなります。
  - 米のとぎ汁、牛乳 …… それ自体は成分として好ましいですが、多量の水分は腐敗しやすくなるので注意が必要です。
  - 刻んでいない大きな食材 …… いずれ分解しますが、大変時間がかかります。分解を速めるためには、出来るだけ小さく刻んで下さい。
  - お茶がらやコーヒーがら …… 大丈夫です。
  - 米ぬかを入れる必要性 …… 特に必要はありません。
- 大歓迎!
- 適量ならうれしい
- 最初どんな土で始めればいいのか? A 植木鉢の要らなくなった古い土など、どんな土でもかまいません。もし買うなら一番安い黒土で結構です。
- 庭や畑で直接出来ますか? A 大丈夫です。プランターを使用する必要はありません。直接庭や畑に仕込む横堀方式(浅い溝を掘る方法)の方が、失敗がありません。
- 毎日かき混ぜなくてはいけないのですか? A 微生物は空気が大好きです。毎日かき混ぜると喜んで分解が進むのです。少なくとも週に1、2度かき混ぜて下さい。土の固まりが出来るので(団粒化現象)それを切り崩すと分解・発酵が速くなります。
- プランターの底がビショビショになって、ドブのような臭いがするのですが? A 水分が多過ぎることと、空気が不足することで嫌気性メタン発酵が起こっていると考えられます。乾いた土を入れてよくかき混ぜて下さい。ひっくり返して日光に当てると乾きが速くなります。
- 土も生ごみも乾燥して、いつまでも形が残っているのですが? A 水分不足で微生物が眠っています。水を入れてかき混ぜて、水分量を50~60% (目安は、土を片手でギュッと握って水が浮き出る程度)にして下さい
- ハエやウジが心配です。 A ハエを呼び寄せて卵を産ませなければウジは湧きません。水分過剰で、嫌気性微生物が働くと悪臭がしてハエを呼び寄せます。生ごみを土で隠すことが一番効果的です。堆肥化が始まるともう寄ってきません。ウジが湧いてしまったら、乾いた土をまぜて水分を遮断しましょう。ウジは栄養の吸収が出来ず、だんだんに弱って死にます(熱湯をかける方法もありますが、水分量の調整が必要です)。梅雨時に小バエが寄ることがありますが、これも湿気が原因です。半日もすればいなくなりまし、家の中には入りません。
- どの位の時間で分解は終わりますか? A でんぷんや、タンパク質は分解が速く、一週間ほどで形がなくなります。繊維質のものや固いものは時間がかかります。気温が高いほうが分解が速く進みますので、夏場は速くなります。
- どうなったら分解が終わったと言えるのですか? A 生ごみの形が無くなって土が小さな粒状になります。そして最後に乾燥してサラサラしてきます。
- サラサラ